学科名	ITスペシャリスト科
コース名	
授業科目	情報セキュリティ
必選	必
年次	2年次
実施時期	前期
種別	講義
時間数	30
単位数	2
担当教員	東堂
実務経験	有
実務経験職種	システムエンジニア
授業概要	企業の業務システムやコンピュータシステムを安全に利用するために求められる情報セキュリティについて学びます。
到達目標	セキュリティ技術の基本として暗号化、フィルタリングなどの知識を深め、セキュリティマネジメント、セキュリティ対策等の応用や活用例を知り、実社会において理解、活用ができるようになることを目標とする。また、近年のサイバー攻撃事例を学び、セキュリティに関連する話題、ニュース記事を理解し、興味を持ち、常にセキュリティ関連のトレンドを追いかけることができるようにする。
授業方法	セキュリティ技術の基本を学び、管理策（マネジメント手法）についても学び、社会で活用できるようにする。また、近年のサイバー攻撃事例の調査、発表を行う。主体的に学ぶことができるよう、グループワークを採り入れる。他人が発する情報をどのように受けとめ、理解するか、さらにそれをどのように伝えていくかを意識しながら、講義を進める。
成績評価方法	試験と課題、理解度確認の小テストを総合的に評価する。授業参加度、授業態度も評価に含まれる。
履修上の注意	主体性を重視し、定期的に課題の提出を実施する。また、グループで考え、発表する作業があるため全員が積極的に参加し、時間内で効果的に作業を進める意識が肝要である。社会への移行を前提とした受講マナーで参加し、講義中の私語や受講態度などには厳しく対応する。パソコン、教科書を忘れずに持参すること。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受講することができない。
教科書・教材	ポケットタイム要点整理情報セキュリティマネジメント

授業計画	
第1回	ガイダンス（ガイダンスにて情報セキュリティの授業の重要性を知り、本講義の取り組み方、姿勢を身につける）
第2回	基礎学習(1)（暗号技術（公開鍵、秘密鍵、ハイブリッド）を学び、仕組みを理解できる）
第3回	基礎学習(2)（暗号技術の理解の下、PKI運用管理技術を学び、仕組みを理解できる）
第4回	基礎学習(3)（デジタル署名などの認証技術について学び、仕組みを理解できる）
第5回	基礎学習(4)（コンピュータウイルス、マルウェアの種類を知り、対策手法を理解できる）
第6回	基礎学習(5)（ネットワークセキュリティ手法、フィルタリング等について学び、活用できる）
第7回	管理策(1)（情報セキュリティマネジメント手法を学び、活用できる）
第8回	管理策(2)（リスクファクターについて知り、リスクマネジメント手法を学び、活用できる）
第9回	管理策(3)（セキュリティ評価、分析手法を学び、定量的、相対的にデータに基づいて評価できる）
第10回	応用学習(1)（サイバー攻撃の種類を学び、セキュリティ支援組織について学び、理解できる）
第11回	応用学習(2)（セキュリティ監査と脆弱性検査について学び、理解できる）
第12回	事例解析(1)（グループでのサイバー攻撃事例解析演習を通して、トレンドを知り、能動的な調査ができる）
第13回	事例解析(2)（サイバー攻撃事例解析演習発表を通して、知識整理を行い発表することができる）
第14回	事例解析(3)（サイバー攻撃事例解析演習発表を通して、知識整理を行い発表することができる）
第15回	事例解析(4)（サイバー攻撃事例解析演習発表を通して、知識整理を行い発表することができる）